

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成15年 4月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.5



「高千穂」を全国に発信!

地元のエキストラ約40人が参加した高千穂夜神楽の撮影シーン(高千穂町 天岩戸神社)

高千穂を舞台にしたNHKの連続ドラマ「女神の恋」のロケが、4月4日から8日にかけて行われました。放送は、5月19日から6月19日まで、毎週(月)~(木)の午後11時から15分間、5週連続で全20回の予定です。神楽や自然など、高千穂の魅力がふんだんに紹介されています。どうぞお楽しみに…。



多くのマスコミ関係者が集まったロケ現場



記者会見は、出演者のユーモアあふれるコメントで、とても和やかな雰囲気の中行われました。写真右から、出演者の山口祐一郎、中野勇士、松本明子、辰巳琢郎、チーフ・リポーターの佐野元彦氏。

【一ロケメモ】

連続テレビ小説「さくら」の脚本家、田淵久美子氏が、大人のラブ・ロマンスを高千穂町を舞台にコメディタッチで暖かく描いたドラマです。



高千穂バイパス 全線開通

3月29日に開通した高千穂バイパス。当日は、地元や工事関係者など大勢の人々が神都高千穂大橋の渡り初めを行い、高千穂バイパスの全線開通を祝いました。橋の両脇に付けられた歩道からは高千穂峡のパノラマ（写真右下）を楽しむことができます。

高千穂町内の三田井と押方を結ぶ国道218号高千穂バイパスが、3月29日に全線開通しました。これまでは、道幅が狭く、急こう配、急カーブの連続でしたが、バイパスの開通により、交通の安全と時間短縮が図られるようになりました。また、同時に町営の道の駅「高千穂」もオープン。西臼杵の新たな観光スポットとして期待されます。



親子3代3組を先頭に、地元の方々など約300人が、神都高千穂大橋を歩いて、渡り初めを行いました。



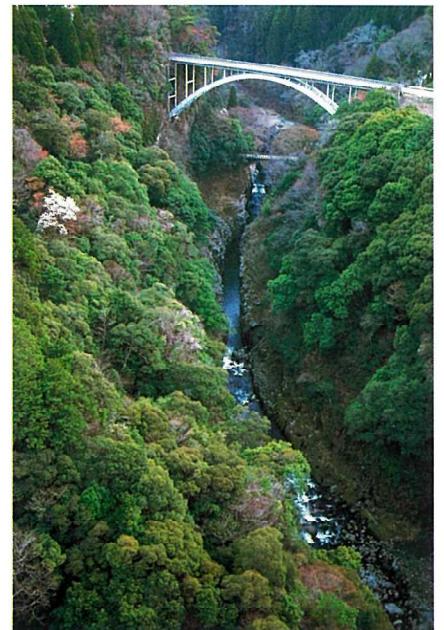
松形知事などが出席し、テープカットが行われました。



県産スギの間伐材を利用したガードレール。強度などの安全基準をクリアして、全国の国道では初めて採用されました。



道の駅「高千穂」にある巨大なモニュメントの「手力男(たぢからお)」と「天鋳女(あめのうずめ)」。観光客に人気のスポットです。



神都高千穂大橋からの眺め。高千穂峡を眼下に見おろすことができます。

西臼杵の情報発信拠点 道の駅「高千穂」オープン!

道の駅「高千穂」が、高千穂バイパス開通と同時に、神都高千穂大橋のたもとにオープンしました。初日から、多くの来場者で賑わい、週末2日間の来場者は1250人にものぼりました。



3月29日にオープンした道の駅「高千穂」

道の駅内には、大きなモニユメントも設置され、早くも新たな観光スポットとなっております。今人気の商品は「手作り饅頭」、「わさび」、「花（スイートピー）など」です。これから新鮮な野菜が続々と登場します。皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



新鮮野菜やおつけものなど、高千穂ならではの美味しい食材がたくさん販売されています。



道の駅「高千穂」は、当地域の新しい情報発信拠点として、また「ひむか神話街道」の北の玄関口の観光スポットとして大いに期待されています。

「森の名手・名人」に 西臼杵から2名選ばれる

社団法人国土緑化推進機構が展開する「もりのくに・にっぼん」運動の一環として、全国から「森の名手・名人」100人が選定されました。

西臼杵郡内からは「神楽面づくり」の工藤正任（まさとし）さんと「かるいづくり」の飯干五男（ごお）さんの2名が選ばれました。

「森を再生していくさまざまな技術の大切さ」や「山と関わり続けていくことの豊かさ」をひろめ、その技を育んできた西臼杵地域の自然と伝統、そして、お二人の「森の名人」が郡内におられることを誇りにしたいものです。



かるいづくりに励む飯干五男さん



神楽面づくりに取り組む工藤正任さん



今も暮らしの中で使われているかるい。贈答用に小さなサイズも作られています。



贈答用としても人気の高い神楽面

県道向山日之影線 「新古園橋」完成

日之影町古園の県道向山日之影線中村工区で平成12年度から整備を進めていた新古園橋がこのほど完成し、3月26日に開通しました。

この新古園橋は、地形的に急峻で、幅員が狭く、急カーブが連続するなど交通の隘路となっていた古園地区と中村地区を最短距離で結ぶ橋長74.5m、幅11mの鋼橋です。



完成を祝い、関係者で渡り初めを行いました。



開通した県道日之影線「新古園橋」

この橋の完成により円滑な交通の確保と安全性の向上が図られました。今回の新古園橋の開通により、中村地区120mの区間が供用され、これまで残り約7割が供用され、16年と開通を目前にして改良工事を進めていきます。

トピックス

特別養護老人ホーム「青雲荘」開園



4月1日、日之影町宮水に特別養護老人ホーム「青雲荘」が開園しました。定員は45名で、別に5名は、ショートステイとして利用できます。当ホームは、県内初の完全個室。入所者を12~13人のグループに分けて家庭的なケアを行うユニットケア方式を採用しています。「青雲荘」の開園により、管内三町全てに特別養護老人ホームが整備されました。

五ヶ瀬ワイン限定5,000本を発売!



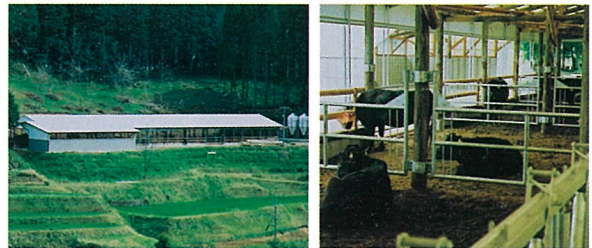
五ヶ瀬町のブドウだけを使った白ワイン「五ヶ瀬白滝」が4月10日に発売されました。「雪の麗峰」に続く第2弾として製造されたもので、今シーズン5,000本の限定品。720ml入り1,500円で、町内の酒販店で販売されています。五ヶ瀬町には来年度、ワイナリーも完成する予定で「ワインの町」づくりが着々と進められています。

寧静ループ橋の維持・管理の交代



国道325号の寧静ループ橋は宮崎県と熊本県との境界に架かっているため、宮崎県と熊本県が5年毎に交代で維持・管理を行っています。平成15年4月1日から平成20年3月31日までは宮崎県が維持・管理を行うことになりました。寧静ループ橋に関するお問い合わせは、西臼杵支庁土木課(TEL0982-72-3191)まで。

高千穂牛生産の中核施設が完成



高千穂町田原地区に肉用牛繁殖経営50頭規模の牛舎が完成しました。高千穂農協では、繁殖雌牛6,500頭(平成18年度末)の増頭計画を推進中。15年3月末現在で6,388頭となっており、進捗率は98.3%です。子牛価格の高値安定が続く中、今回のような肉用牛経営の規模拡大を目指す中核農家が、今後も増えることが期待されます。

編集後記

支庁に来て2年目を迎えた。今年は、町内のあちこちで、りっぱな桜にお目にかかることができた。1年前は新しい生活に追われ、この美しい桜も目にとまらなかったのだろう。今年の桜は、特に美しく感じられた。▶宿舎から支庁までの道すがら、高千穂高校の生徒たちとよくすれ違いますが、皆よくあいさつをしてくれる。宮崎市内では、一度も経験したことがなかったので、最初はとまどったが、私も自然にあいさつを交わせるようになった。▶今年2月、西臼杵でも任意合併協議会が立ち上げられた。今、3町では、現状分析や将来像についての議論が懸命に行われている。県の総合事務所として、3町をサポートしていきたい。

西臼杵の春だより

- TR深角駅(日之影町)の桜がとてもきれいでした。トロッコ列車も好調です。



- 支庁前庭の「藤の花」が今年もきれいに咲きました。



◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760